

登録コード	UAI08600	開講年度	2026					
授業題目	ミクロ計量経済学					担当教員	藤森 洸	
						副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限			
				授業形態	講義			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	2 4 UAカリ・総人社・経済学							
	【研究科共通】量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。					⇔	・ミクロ統計データを用いた実証分析を行う際に必要となる主要な統計手法を身に付ける。 ・Rを用いた、データの前処理を含む統計解析を実践することを通して、様々なデータの取り扱いに慣れる。	
	2 6 UAカリ・総人社・経済学，2 5 UAカリ・総人社・経済学，2 4 UAカリ・総人社・経済学							
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。					⇔	・ミクロ統計データを用いた実証分析を行う際に必要となる主要な統計手法を身に付ける。 ・学部レベルの理論的な基礎知識を踏まえ、より発展的な理論や、Rを用いたデータ解析手法を学ぶことを通して、実データにアプローチできるようになる。	
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。					⇔	・経済理論に基づくモデリング及び、統計学的手法に基づくモデルの比較を学ぶ。また、データの収集、サンプリング、前処理を含む実データに対する注意点を学び、実践的なデータ解析手法を学ぶ。	
(2)授業の概要	標本調査等によって得られたマイクロデータは、標本数が多いだけでなく多様な経済主体がそこに含まれています。学部の統計学・計量経済学で学んだ基本的な分析手法をあてはめにくいデータに関して、そのデータの特性に応じた様々な統計手法の理論を学んでいきます。また、実際にコンピューター上でこれらの手法を現実のデータに適用してみることで、その有用性や限界を体験します。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とします。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせします。							
(3)授業計画	第1回： ミクロ計量経済学の考え方、Rの基礎 第2回： 因果関係 第3回： 因果関係、ランダム化比較試験 第4回： 因果関係、交絡バイアス、差の差分法・演習 第5回： データの測定、可視化 第6回： データの測定、サンプリング 第7回： データの測定、クラスタリング・演習 第8回： 回帰分析と因果効果の測定 第9回： 回帰分析と予測 第10回： 回帰分析デザイン・演習 第11回： 一般化線型モデル 第12回： パネルデータの分析 第13回： モデル選択 第14回： データ分析の演習，理解度の確認(期末レポート) 期末試験の有無 無 課題の出題時期や提出期限等については初回ガイダンス又はeALPSにおいて適宜周知します。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とします。 ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせします。							
(4)成績評価の方法	演習への取り組みで評価します。							
(5)成績評価の基準	授業で説明した内容の復習レベルの課題ができれば「水準にある（可）」，さらに応用レベルの課題に対応できれば「やや上にある（良）」，応用レベルの課題が完全にできれば「かなり上にある（優）」，応用レベルの課題よりさらに優れた水準で対応できれば「卓越している（秀）」。							
(6)事前事後学習の内容	授業終了時に毎回，次回の講義で扱う範囲を紹介し，予習すべき教科書の範囲，その他事前学習の内容を指示するので，その準備をして授業に臨むこと。							
(7)履修上の注意	学部レベルの統計学・計量経済学の知識は必須です。これらの内容に関しても適宜復習しますが，自分でも積極的に復習して授業に臨むようにしてください。							
(8)質問,相談への対応	授業中に質問することは、他の受講生にとっても大変参考になります。その他の時間帯での質問・相談はメールでアポイントメントを事前にとってください。							
【教科書】	今井耕介『社会科学のためのデータ分析入門』岩波書店 末石直也『計量経済学 ミクロデータ分析へのいざない』、日本評論社、2015年 北村行伸『ミクロ計量経済学入門』、日本評論社、2008年							
【参考書】	岩田暁一『経済分析のための統計的方法』、東洋経済新報社、1983年							